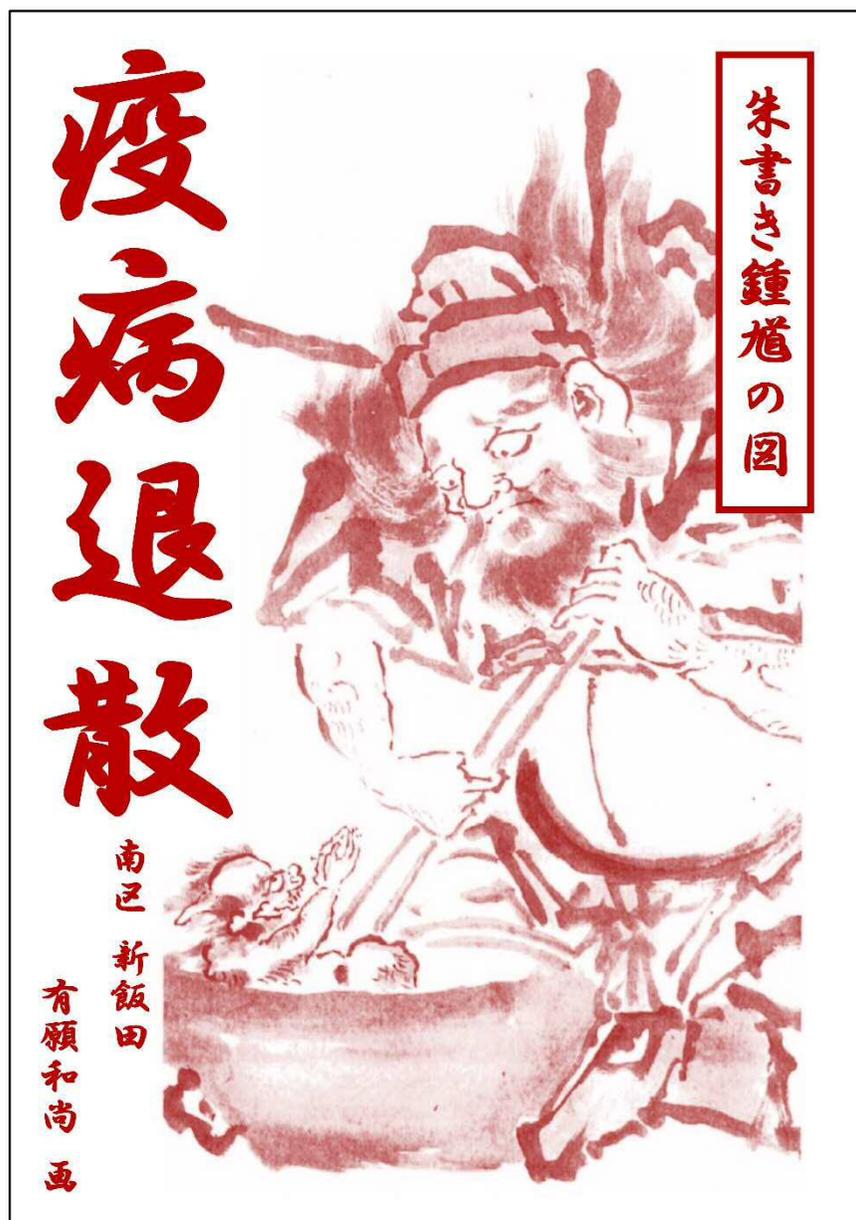




さあ、新しい日常へ。  
New Lifestyle, New Niigata

# しょうき 「朱書き鍾馗大凧」について



## < 凧絵の原画について >

江戸時代、南区新飯田地区の円通庵に住んでいた有願和尚が描いたとされる掛け軸が、本凧絵の原画です。

鍾馗は中国に伝わる魔よけの神様で、日本では古くから、鍾馗の図像が天然痘などの疫病除けの効があるとされています。また、赤色が病魔を祓うという伝承から、赤い墨で描かれた「朱書き鍾馗(赤鍾馗)」が江戸時代には盛んに描かれたと言われおり、この凧絵の原画となった掛け軸も、有願和尚が所望されて描き与えたものと言われています。  
※原画所有者の詳細については、個人情報関係上非公表とさせていただきます。

## < 有願和尚 (海翁東岫) について >

元文二(1737)年～文化五(1808)年8月3日没。現三条市代官島の田沢家に生まれ、幼少期を南区茨曾根の永安寺 古岸大舟師に学び、後仁箇村(旧巻町)の萬福寺 悦巖素忻和尚の法脈を継ぎました。諸国修行の後、晩年は南区新飯田の円通庵三世となり、村の子どもたちに手習いを教えるなど教育を施し、道に石畳を敷くなど社会奉仕にも心掛けました。書はもとより絵画にも優れており、詩歌も巧みでありました。

また、越後に帰国後の五合庵に住んでいた良寛さまとよく交流を重ね、互いに影響しあいました。有願和尚の没後も良寛さまは円通庵を訪ねるほどの親交の深さがうかがわれます。

協力：有願会



さあ、新しい日常へ。  
New Lifestyle, New Niigata

# 「#MAKE IT BLUE 大凧」について



医療現場の最前線で新型コロナウイルスと闘うすべての方々に感謝の意を込めて、医療従事者を表す“青色”をテーマカラーとして世界各国で展開される「MAKE IT BLUE キャンペーン」は、日本各地においても、建造物を青色にライトアップする「LIGHT IT BLUE キャンペーン」という形で実施されております。

この度、風と大地のめぐみ実行委員会では、MAKE IT BLUE JAPAN 実行委員会の活動に賛同し、**白根大凧合戦で使用される24畳大凧を青色基調で描くとともに、#MAKE IT BLUE キャンペーン公式ロゴ(※)を描いた「#MAKE IT BLUE 大凧」を製作**することで、医療の最前線で闘うすべての方々に感謝の意を表します。

メインの凧絵として描かれているのは、白根大凧合戦でも実際に揚げられている「達摩組」の絵柄です。これは、「転んでも立ち上がる」「商売繁盛」といった、縁起物としての「ダルマ」にあやかっているものであり、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ**経済の再興と、全ての事業者の皆様の商売繁盛**を併せて祈念するものです。

※公式ロゴの使用については、MAKE IT BLUE JAPAN 実行委員会のご了承を得ております。